



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5727 URL <https://www.toho-titanium.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画グループマネージャー (氏名) 留場 啓 TEL 0467-87-2614
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,512	6.6	1,702	△33.0	1,471	△47.5	936	△59.3
2019年3月期第2四半期	20,184	13.3	2,539	31.7	2,804	49.9	2,297	75.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 902百万円 (△60.7%) 2019年3月期第2四半期 2,299百万円 (75.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	13.15	—
2019年3月期第2四半期	32.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	86,600	47,777	55.0
2019年3月期	87,645	47,730	54.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 47,647百万円 2019年3月期 47,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	6.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	6.5	4,400	△16.6	3,800	△27.9	2,200	△66.1	30.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	71,270,910株	2019年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	97,859株	2019年3月期	97,671株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	71,173,149株	2019年3月期2Q	71,173,275株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料、決算説明会内容の入手方法）

・決算説明会は、2019年11月14日に開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における我が国経済は、中国経済の景気減速に加えて、米中の貿易摩擦の激化を受け輸出が減少する等景況感は悪化しました。また、日韓関係の悪化や中東情勢の緊迫化など、先行き不透明感の長期化が引き続き懸念される状況にあります。

当社を取り巻く環境は、金属チタン事業では海外主要顧客からの需要は引き続き堅調であり、その他国内外顧客からの引き合いも多く、昨年度からの需要好調が継続しました。一方機能化学品事業では、化学品(電子部品材料等)について昨年度後半から需要に一部陰りが見え始めていたところ、当期に入り需要減少の傾向が大きく顕在化しました。

こうした状況に加え、為替が前期と比較し円高で推移したことなどから、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高215億12百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益17億2百万円(同33.0%減)、経常利益14億71百万円(同47.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億36百万円(同59.3%減)となりました。

金属チタン事業

当第2四半期連結累計期間においては、航空機向けを中心に総じて需要は増勢が継続しましたが、原料であるチタン鉱石価格が前年同期と比較し大幅に上昇しました。

こうした状況のもと、同期間の金属チタン事業は、売上高は145億93百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益は9億45百万円(同10.1%減)となりました。

機能化学品事業

当第2四半期連結累計期間においては、特に化学品について、スマートフォン販売不振等により需要減速の傾向が強まりました。

こうした状況のもと、同期間の機能化学品事業は、化学品の減販を主因に、売上高は69億19百万円(前年同期比13.3%減)、営業利益は19億63百万円(同27.3%減)となりました。

セグメント別連結売上高

(単位:百万円)

区 分	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	14,593	12,201	19.6%
機能化学品事業	6,919	7,983	△13.3%
合 計	21,512	20,184	6.6%

セグメント別連結営業利益

(単位:百万円)

区 分	2020年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	945	1,051	△10.1%
機能化学品事業	1,963	2,702	△27.3%
全 社 費 用	△1,206	△1,214	—
合 計	1,702	2,539	△33.0%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現預金等の増加はありましたが、売掛債権、固定資産の減少等により、前連結会計年度末比10億44百万円減の866億円となりました。

負債の部は、買掛債務の減少等により、前連結会計年度末比10億91百万円減の388億23百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比47百万円増の477億77百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.3%から55.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は26億64百万円と期首に比べ10億64百万円の増加となりました。キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、31億36百万円の収入となりました。これは仕入債務の減少8億63百万円、たな卸資産の増加6億36百万円、未収入金の増加5億70百万円等の資金減少要因の一方で、税金等調整前四半期純利益13億28百万円、減価償却費26億14百万円、売上債権の減少20億30百万円等の資金増加要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億33百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出15億7百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億6百万円の支出となりました。これは配当金の支払額8億54百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想(2019年7月26日)を変更しておりません。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,600	2,664
受取手形及び売掛金	8,718	6,688
商品及び製品	13,151	13,853
仕掛品	6,559	6,019
原材料及び貯蔵品	4,514	4,989
未収入金	2,167	2,428
その他	397	423
流動資産合計	37,110	37,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,209	12,796
機械装置及び運搬具(純額)	21,053	20,313
工具、器具及び備品(純額)	201	210
土地	2,219	2,219
リース資産(純額)	3,726	3,455
建設仮勘定	1,279	1,766
有形固定資産合計	41,690	40,762
無形固定資産		
ソフトウェア	120	106
ソフトウェア仮勘定	162	214
その他	51	48
無形固定資産合計	334	369
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	5,155	5,155
繰延税金資産	2,885	2,661
退職給付に係る資産	180	188
その他	283	391
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	8,509	8,401
固定資産合計	50,535	49,533
資産合計	87,645	86,600

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,528	1,665
短期借入金	18,570	20,850
リース債務	551	536
未払法人税等	535	240
賞与引当金	1,061	741
役員賞与引当金	125	48
その他	1,730	2,032
流動負債合計	25,103	26,114
固定負債		
長期借入金	10,404	8,553
リース債務	3,272	3,008
資産除去債務	1,134	1,146
固定負債合計	14,811	12,708
負債合計	39,915	38,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	22,643	22,725
自己株式	△76	△76
株主資本合計	47,552	47,634
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	49	17
退職給付に係る調整累計額	△0	△4
その他の包括利益累計額合計	49	12
非支配株主持分	128	130
純資産合計	47,730	47,777
負債純資産合計	87,645	86,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	20,184	21,512
売上原価	14,862	16,805
売上総利益	5,321	4,707
販売費及び一般管理費	2,782	3,004
営業利益	2,539	1,702
営業外収益		
為替差益	350	—
物品売却益	13	9
受取技術料	13	—
その他	12	25
営業外収益合計	390	34
営業外費用		
支払利息	106	86
為替差損	—	120
その他	19	58
営業外費用合計	125	265
経常利益	2,804	1,471
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	10	143
特別損失合計	10	143
税金等調整前四半期純利益	2,793	1,328
法人税、住民税及び事業税	289	163
法人税等調整額	205	225
法人税等合計	494	389
四半期純利益	2,299	939
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,297	936

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,299	939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	—
繰延ヘッジ損益	△3	—
為替換算調整勘定	11	△32
退職給付に係る調整額	△18	△4
その他の包括利益合計	0	△36
四半期包括利益	2,299	902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,297	899
非支配株主に係る四半期包括利益	1	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,793	1,328
減価償却費	2,477	2,614
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△256	△319
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△10	△7
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	106	86
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△0
固定資産除却損	10	143
売上債権の増減額 (△は増加)	112	2,030
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△919	△636
仕入債務の増減額 (△は減少)	△42	△863
未払金の増減額 (△は減少)	△15	14
未払費用の増減額 (△は減少)	△72	△93
未収入金の増減額 (△は増加)	△435	△570
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△9	87
未払消費税等の増減額 (△は減少)	—	6
その他	191	△162
小計	3,926	3,655
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△107	△87
法人税等の支払額	△196	△433
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,624	3,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,616	△1,507
無形固定資産の取得による支出	△11	△28
敷金の差入による支出	—	△109
補助金の受取額	—	309
その他	1	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,625	△1,333
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	12,500	7,700
短期借入金の返済による支出	△10,000	△4,900
長期借入金の返済による支出	△2,403	△2,371
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△308	△279
配当金の支払額	△711	△854
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△925	△706
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,085	1,064
現金及び現金同等物の期首残高	1,184	1,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,270	2,664

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン事業	機能化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,201	7,983	20,184	—	20,184
セグメント間の内部売上高又は 振替高	789	2	791	△791	—
計	12,990	7,986	20,976	△791	20,184
セグメント利益	1,051	2,702	3,754	△1,214	2,539

(注) 1.セグメント利益の調整額△1,214百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン事業	機能化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,593	6,919	21,512	—	21,512
セグメント間の内部売上高又は 振替高	665	5	671	△671	—
計	15,258	6,925	22,184	△671	21,512
セグメント利益	945	1,963	2,908	△1,206	1,702

(注) 1.セグメント利益の調整額△1,206百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。